

### 本基板およびソフトウェアに関するお約束

- ・組み立て後の転売はOKですが、生板は禁止。 転売後のアフターフォローは自分で確実にしてください。
- ・実験基板です。キットではありません。確実な動作を望まないでください。
- ・この基板を使う上で、すべての問題は自己責任でお願いします。  
事故等が起きても、当方は一切の責任を負いません。

### マイコンソフトウェアについて

説明書アーカイブ内の”抵抗”フォルダ内に、各抵抗ごとのプログラムが用意されている

### 設定について

起動後、Muteボタンを2秒間押し続けることにより、設定メニューに入ることが出来る。  
メニューに入った後、各ボタンは、下記のような意味になる。

Mute = 決定

音量上 = メニュー移動上

音量下 = メニュー移動下

Line選択 = キャンセル

※キャンセルは、すべての階層で有効

### メニュー

Setting Mode

1)Learn IR

各機能(ボタン)に対応するリモコンコードを学習する。

Setting Mode

2)Step Setting

チョイスした抵抗の定数に合わせた、アッテネータステップ数を設定する。

Setting Mode

3)Lang Setting

言語設定(日本語、英語)の切り替えを行う。

Setting Mode

4)EEPROM Setting

アッテネータ位置、ミュート状態を電源ONのとき、前回電源OFF時の状態を復元するか設定する。

## リモコン学習設定

1)Learn IR  
1-1)Mute Button

設定したいボタンを音量ボタンで選び、ミュートで決定

1-1)Mute Button  
Please Beam.....

学習させたいリモコンのボタンを押す

1-1)Mute Button  
One More Beam...

もう一度学習させたいリモコンのボタンを押す  
(注1:この画面をスキップしてしまう場合、注意が必要)

1-1)Mute Button  
Learn Success!

2秒待つと、次のボタン設定に遷移する。

1-1)Mute Button  
Learn NG Retry?

何回トライしても、NGとなってしまう場合は、  
そのリモコンコードは学習できないと思われる。

### 注1について

もう一度リモコン送信を促すメッセージをスキップし、学習成功となるリモコンは、  
リピートコードを出さず、リーダーコードから連続的に信号を送信するリモコンである。  
ライン選択ボタンなどに使うと、連続的に入力が切り替わるなどの問題が発生するかもしれない。

### リモコンについて

本ソフトは、NECフォーマットのリモコン学習を対象としているので、下記に示すメーカーの  
リモコンを学習できる可能性がある。

☆NEC、日立、東芝、サンヨー、富士通ゼネラル、パイオニア、他多数

以下に示す家電協フォーマット、メーカーや、SONYフォーマットには対応していない。

☆三菱、シャープ、松下(パナソニック)、他多数

家電協フォーマットについては、あまりにも要望が多ければ、それ専用でプログラムを修正  
するかもしれないが、可能性はかなり低い。NECフォーマットは、韓国、中国製品の  
リモコンにも採用されているようで、もっともスタンダードであると考えられるからである。

### リピート動作について

NECフォーマットに準拠したリモコンであれば、音量ボタン押下し続けることによりリピート  
動作する。しかしながら、学習できるが、リピート動作しないリモコンもあるかもしれない。

☆ビクター(リピート非対応)

### 学習できるボタン一覧

1-1)Mute Button	消音ボタン。トグル動作
1-2)Up Button	音量上、1ステップ送り。リピート動作あり。
1-3)Down Button	音量下、1ステップ送り。リピート動作あり。
1-4)L-Sel Button	ライン入力選択、入力0-1-2の順次切替
1-5)Line1 Button	ライン1選択
1-6)Line2 Button	ライン2選択
1-7)Line3 Button	ライン3選択
1-8)UP 2-Step	音量上、2ステップ送り。リピート動作あり。
1-9)Down 2-Step	音量下、2ステップ送り。リピート動作あり。

## ステップ設定

2)Step Setting  
2-1)15 step

設定したいステップを選択する  
モードについては下表を参照のこと

2)Step Setting  
Step Changed!

2秒待つと、メニューに戻る。

### モード一覧

2-1)15 step	15本の抵抗をパラ使用せず、単独で使うモード
2-2)44 step (1)	抵抗定数 51K2dB, 24K2dBのときに使用するモード。別ファイル参照のこと。 <i>51K2dB.pdf, 24K2dB.pdf</i>
2-3)44 step (2)	抵抗定数 51K3dB, 24K3dBのときに使用するモード。別ファイル参照のこと。 <i>51K3dB.pdf, 24K3dB.pdf</i>
2-3)44 step (3)	抵抗定数 100K3dB, 10K3dBのときに使用するモード。別ファイル参照のこと。 <i>100K3dB.pdf, 10K3dB.pdf</i>

## 言語設定

3)Lang Setting  
3-1)Japanese Mes

日本語メッセージに切り替える場合、ここで決定

3)Lang Setting  
ニホンゴニ、ヘンコウシマシタ

2秒待つと、メニューに戻る。

## 不揮発メモリ設定

4)EEPROM Setting  
4-2)NoKeep Stat.

アッテネータ、ミュートの動作を電源ON時に再現したくなければ、これで決定する。

4)EEPROM Setting  
NoKeep Stat mode

2秒待つと、メニューに戻る。

※初期は、状態保持する状態。状態保持をしないように切り替えた場合でも、ライン入力は電源ON時に前回の状態を復元する。復元対象外となるのは、あくまでもアッテネータとミュートである。

以上